

# 第 10 回熊本実技セミナー 開催報告



会期:平成 27 年 2 月 21 日(土)

会場:熊本リハビリテーション病院地域交流ホール

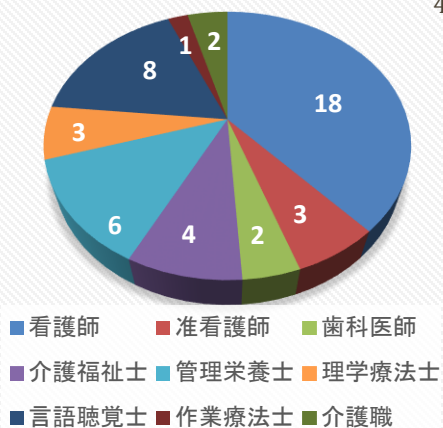
主催:NPO 法人 口から食べる幸せを守る会

社会医療法人社団熊本丸田会熊本リハビリテーション病院

共催:大塚製薬工場

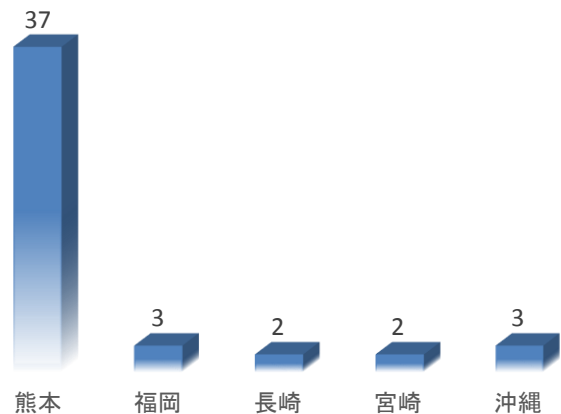
参加者(職種別)

46 名



都道府県別

46 名



## 実技セミナー 講師・アドバイザー一覧

<敬称略・五十音順>

氏名	所属	職種(摂食嚥下に関する資格)
小山 珠美	三思会 摂食嚥下サポート担当	看護師(日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士)
斉藤智子	熊本リハビリテーション病院	医師
井野美穂子	熊本リハビリテーション病院	看護師
大城清貴	豊見城中央病院	看護師
加藤節子	北山病院	看護師
川端直子	広島市立リハビリテーション病院	摂食嚥下障害看護認定看護師
下田加奈	熊本リハビリテーション病院	看護師
嶋津 さゆり	熊本リハビリテーション病院	管理栄養士
竹市 美加	日本赤十字広島大学 認定看護師教育課程 非常勤講師	摂食嚥下障害看護認定看護師
平野宏一	熊本リハビリテーション病院	看護師
三宅祐里	熊本リハビリテーション病院	看護師
山下裕史	熊本リハビリテーション病院	言語聴覚士

# アンケート結果

**Q1 本日の実技セミナーの内容はご自身の口から食べる技術に関するスキルアップにつながったと思いますか？**

1.かなりそう思う	2.まあまあそう思う	3.あまりそう思わない	4.そう思わない	(回答有 39名)
33人	6人	0人	0人	

- ・普段、自分が正しいと思っていた方法が実は危険な行為であった事に気づき、このようなセミナーに参加することの必要性を改めて思いました。今日の実践を明日につなげるようにしていきたいと思えます。
- ・食べる患者様の目線で介入出来ていなかったことが分かり、これからの臨床に活かすすごく良いきっかけになりました。
- ・実際に自分が患者さんの立場になってみて、無理な姿勢ではすごく食べにくいと感じました。まずは、患者さんに不快な気持を与えない事が大切と思えます。
- ・実際に、被験者になる事で視線の位置など患者の除今日を理解できた。細かい手の使い方や机の位置など勉強になった。

**Q2 本日の実践セミナーは、今後の実践の現場で活用する事ができるとおもいますか。活用できる場合はどんな場面で活用できるか具体的にご記入ください。活用できない場合の理由もお願いします。**

1.かなりそう思う	2.まあまあそう思う	3.あまりそう思わない	4.そう思わない
30人	9人	0人	0人

- ・まずはNSTスタッフとしてスクリーニングがきちんと行えるよう実践していきたいと思えます。
- ・摂食嚥下委員として、委員メンバー病棟スタッフへ伝達していきたいと感じました。又、普段の病棟で食事介助に活かしていきます。
- ・誤嚥性肺炎の患者さんや自己摂取できない患者さんが入院しているため、活用していきます。
- ・病院内で摂食嚥下班として活動を行っている為、患者様のシーティングを行っていきたくです。

**Q3 本日の実技セミナーの様な研修をご自身の病院、施設、地域で自ら企画して行おうと思えますか。**

1.かなりそう思う	2.まあまあそう思う	3.あまりそう思わない	4.そう思わない	未記入
19人	17人	2人	0人	1人

- ・嚥下のスキルが低いので、病院全体でスキルアップが出来ればと思えます。
- ・機会があれば地域での活用を行って行ければと思えました。
- ・直接訓練の必要性を感じているので、NSTとして病院内へ広めていくためにも是非企画したい。

## セミナー中の様子



グループに分かれて演習を行いました。



受講者の皆様にも患者役を経験していただきます。





受講者の皆様・スタッフの皆様ありがとうございました。